

I 次のA、Bの各文を読み、下記の問いに答えなさい。

A. 1931年9月18日に起きた満州事変をきっかけに日本軍は満州の大部分を占領して「満州国」^(ア)を建国し、日本は15年間続く戦争の時代へと突入していった。

満州事変をきっかけに日本国内では、軍部による政治の革新に期待が集まり、そうした風潮の中で、1932年に(イ)事件、1936年に(ウ)事件が起こり、軍部の政治への発言力は一層高まった。そして満州から華北へ勢力を拡大しようとする日本軍は中国軍と対立し、1937年には日中戦争が始まり、戦争は次第に泥沼化していった。日本軍は行き詰まりを打開するため、1940年に北部仏印に進駐し、翌年、南部仏印に進駐した。これによりアメリカとの対立は決定的になり、日本は1941年12月に太平洋戦争を開始した。この戦争は、日本が1945年8月14日にポツダム宣言の受諾を通告し、9月2日、降伏文書に署名することによってようやく終了した。

問 1. 下線部(ア)について述べた文として、内容の正しいものを次の1～4から選び、その番号をマークしなさい。

1. 関東軍は柳条湖事件を中国軍のしわざとして軍事行動を開始した。
2. 満州国は清王朝の復活をめざす満州人が実権を握り関東軍を動かした。
3. 日本は国際連盟に満州国を認めさせることに成功した。
4. 当時の近衛内閣は、積極的に軍部の侵攻を支持した。

問 2. 空欄(イ)と空欄(ウ)に適する語句の組み合わせとして正しいものを次の1～4から選び、その番号をマークしなさい。なお、選択肢は空欄(イ)―空欄(ウ)の順になっている。

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 五・一五 ―― 二・二六 | 2. 二・二六 ―― 三・一 |
| 3. 五・四 ―― 五・一五 | 4. 三・一 ―― 五・四 |

問 3. 下線部(エ)について述べた文として、内容の正しいものを次の1～4から選び、その番号をマークしなさい。

1. 上海事変をきっかけに日本は満州国を国際的に認めさせた。
2. 戦争が始まると中国国民党と中国共産党の対立を利用して、日本軍は共産党を支援した。
3. 中国軍が占領した首都北京では、多くの日本人捕虜や民間人が殺された。
4. この戦争は、北京郊外の盧溝橋事件をきっかけにおきた。

問 4. 下線部(㉔)について述べた文として、内容の正しいものを次の1～4から選び、その番号をマークしなさい。

1. 日本軍は、ドイツがフランスに敗れたのをきっかけにこれを実行した。
2. これは中国を援助しているアメリカなどの補給路を断つことをねらっていた。
3. これは香辛料を得ることをねらっていた。
4. これはオランダやイギリスと連携することをねらっていた。

問 5. 下線部(㉕)について述べた文として、内容の正しいものを次の1～4から選び、その番号をマークしなさい。

1. これをきっかけに国民総動員法が制定された。
2. 日本は北方の安全を確保しながら南進を続けるために日ソ中立条約を結んだ。
3. ABCD 協力機構は日本を支持し援助した。
4. 首相の東条英機は、中国との戦争終結と満州からの撤退を主張した。

問 6. 下線部(㉖)について述べた文として、内容の誤っているものを次の1～4から選び、その番号をマークしなさい。

1. 1940年9月6日の帝国議会では、日米交渉の期限を12月上旬と区切り、交渉が成立しなければ対米開戦に踏み切ることが決定された。
2. 1941年11月26日のアメリカ側の提案(ハル＝ノート)は、日本に満州事変以前の状態に戻ることを要求するものだった。
3. 1941年12月8日、日本軍がマレー半島と真珠湾を奇襲攻撃し、米英に宣戦を布告した。
4. この戦争中、政府は、軍需生産を最優先する政策をとる一方、国民に生活を極度に切り詰めさせ、兵力・労働力として根こそぎに動員した。

B. ポツダム宣言の受諾とともに(ク)内閣は総辞職し、(ケ)が組閣して連合国軍の進駐を受け入れた。マッカーサー元帥を最高司令官とする連合国軍最高司令官総司令部(GHQ/SCAP)による占領政策の当初の目標は、日本の軍国主義を取り除き、民主主義を推し進めることにあった。このため、GHQは次々と日本政府に指令を出し、日本の根本的な改革をめざした。中でも中心となったのは日本国憲法の制定であった。

ところが、戦後冷戦が次第にはげしくなると、アメリカの占領政策の転換が行われた。これにより、日本はアメリカ側陣営の国として、1951年、48カ国との間でサンフランシスコ平和条約に調印し、翌年、同条約が発効して約7年間に及んだ占領が終結、日本は独立国として主権を回復した。

問 7. 空欄(ク)と空欄(ケ)に適する人名の組み合わせとして正しいものを次の1～4から選び、その番号をマークしなさい。なお、選択肢は空欄(ク)―空欄(ケ)の順になっている。

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. 鈴木貫太郎―吉田茂 | 2. 鈴木貫太郎―東久邇宮稔彦 |
| 3. 東条英機―吉田茂 | 4. 東条英機―東久邇宮稔彦 |

問 8. 下線部(コ)について述べた文として、内容の正しいものを次の1～4から選び、その番号をマークしなさい。

1. 自衛隊の武力を残し、日本軍のすみやかな武装解除を行った。
2. B級・C級の戦争犯罪人を極東国際軍事裁判にかけて処罰した。
3. 治安維持法を治安警察法に改正した。
4. 戦争犯罪人・陸海軍軍人・超国家主義者らの公職追放を行った。

問 9. 下線部(サ)について述べた文として、内容の正しいものを次の1～4から選び、その番号をマークしなさい。

1. 18歳以上の男子と16歳以上の女子に選挙権が認められた。
2. 学校教育法と教育勅語が制定された。
3. 財閥解体と農地改革が行われた。
4. 労働者関係調整法・労働者組合法・労働者基準法が制定された。

問10. 下線部(シ)について述べた文として、内容の正しいものを次の1～4から選び、その番号をマークしなさい。

1. この憲法の三原則とは、三権分立・平和主義・基本的人権の尊重である。
2. この憲法は、1946年5月3日に発布され、1946年11月3日に施行された。
3. 憲法問題調査委員会の改正試案は、議会で一部修正されただけで日本国憲法として成立した。
4. この憲法の精神に基づいて、民法など多くの法律が改正または新たに制定された。

問11. 下線部(ス)について述べた文として、内容の正しいものを次の1～4から選び、その番号をマークしなさい。

1. 西側社会主義陣営と東側資本主義陣営の対立は「冷たい戦争」と呼ばれた。
2. アメリカを盟主とする東側陣営とソ連を盟主とする西側陣営は世界各地で対立した。
3. 南・北ドイツの対立、東・西朝鮮の対立、東・西ベトナムの対立が起きた。
4. 1989年12月、マルタ島の米ソ首脳会談で「冷戦の終結」が宣言された。

問12. 下線部(セ)について述べた文として、内容の正しいものを次の1～4から選び、その番号をマークしなさい。

1. 中国内戦で国民党の優勢が明らかになった1950年以降、占領政策が転換した。
2. アメリカは日本を政治的に安定した農業中心の国として復興させるため、農地改革と地租改正を行った。
3. 大戦中重要な地位にあった旧軍人や政財界人の公職追放を解除した。
4. 1949年の朝鮮戦争で自衛隊の増強が行われた。

- Ⅱ 次のA～Fの各文の下線部には誤りを含むものが一つある。各文の下線部(1)～(4)から誤りを含むものを選び、その番号をマークしなさい。

A 6世紀の大和政権は各地を支配する豪族による連合政権の段階にあり、中央集権的な権力の集中はまだみられなかった。そのなかで587年に大臣の蘇我馬子が大連の物部守屋を滅ぼし、⁽¹⁾592年には崇峻天皇を暗殺して政治権力を握った。その後、⁽²⁾推古天皇が即位し、蘇我馬子や厩戸王(聖徳太子)の協力態勢をつくり、天皇中心の中央集権国家をめざして八色の姓や憲法十七⁽³⁾条を制定し、⁽⁴⁾遣隋使の派遣や法隆寺の建立などを行った。

B 7世紀の東アジアの動乱を背景に我が国でも権力の集中をめざす動きが強まり、645年、⁽¹⁾中大兄皇子は藤原不比等らの協力を得て蘇我蝦夷・蘇我入鹿を滅ぼし、孝徳天皇が即位して⁽²⁾中大兄皇子を皇太子とする新政権が樹立された。⁽³⁾翌年、改新の詔が出され、⁽⁴⁾公地公民制への移行や中央官庁の整備などにより、天皇中心の中央集権の国家をめざすことになった。

C 朝鮮半島では、660年に唐と新羅が連合して百済を滅ぼした。⁽¹⁾齊明天皇と中大兄皇子は、百済の再興をめざす遺臣を支援する大軍を朝鮮半島に送るが、663年に⁽²⁾白村江の戦いで唐・高句麗の連合軍に敗北した。664年中大兄皇子は⁽³⁾国政改革を断行するとともに九州の防衛を進め、668年に即位して天智天皇となり、⁽⁴⁾670年に庚午年籍を作成した。

D 天智天皇の子の大友皇子と天智天皇の弟の大海人皇子との間の皇位継承をめぐる争いは、672年に⁽¹⁾壬午の乱となった。⁽²⁾この乱は大海人皇子側の勝利で決着し、⁽³⁾大海人皇子は翌年即位して天武天皇となった。⁽⁴⁾乱の結果、大友皇子側についた有力豪族は没落し、強大な権力を手に入れた天武天皇を中心に、中央集権的な国家体制の形成が進むことになる。

E 天武天皇は律令の制定・国史の編纂・都城の造営という諸事業に着手するが、その完成を見ずに686年に死去した。⁽¹⁾天武天皇の皇后であった持統天皇は、689年に飛鳥浄御原令を施行し、⁽²⁾庚寅年籍を690年に完成させた。そして694年我が国初の本格的都城である⁽³⁾長岡京に遷都した。また持統天皇は孫の文武天皇が即位した後も太上天皇として天皇を後見した。こうして⁽⁴⁾701年、大宝律令が完成し、天皇中心の中央集権国家の仕組みは大陸にならった律令制度として整ったのである。

F 元明天皇は710年、平城京に遷都した。仏教を厚く信仰した聖武天皇は、741年に国分寺建立の詔を出し、⁽¹⁾ ついで743年には大仏造立の詔を出した。これらのことは、天皇中心の中央集権国家の国力の充実を示すものであった。⁽²⁾ ところが同じ743年に出した三世一身法⁽³⁾の影響は大きかった。この法は、耕作されていない土地の開発を奨励し、国家が掌握する田地を増加させようという政策であったが、一方で貴族・寺院・地方豪族の私有地拡大⁽⁴⁾を認めることになり、公地公民制の原則を揺るがすこととなった。

体育進学センター

Ⅲ

次のA～Fの各群のできごとの中で2番目に古いできごとを選び、その番号をマークしなさい。

- A. 1. 持明院統と大覚寺統から交替で皇位につく両統迭立が決定された。
2. 光明天皇が立てられた。
3. 建武の新政が行われた。
4. 南北朝の合一が実現した。
- B. 1. 慈円が『愚管抄』を著した。
2. 狩野永徳が『唐獅子図屏風』を描いた。
3. 北畠親房が『神皇正統記』を著した。
4. 世阿弥元清が『風姿花伝』を著した。
- C. 1. はじめて全国に守護と地頭が置かれた。
2. 承久の乱後に新補地頭が置かれた。
3. 守護請が盛んに行われるようになった。
4. 紀伊国阿比河荘民が地頭の非法などを高野山に訴えた。
- D. 1. 源頼家が征夷大將軍となる。
2. 足利義昭が征夷大將軍となる。
3. 足利義政が征夷大將軍となる。
4. 足利義満が征夷大將軍となる。
- E. 1. 永仁の徳政令が発布される。
2. 織田信長が伊勢長島の一向一揆を滅ぼす。
3. 正長の徳政一揆が起こる。
4. 山城の国一揆が起こる。
- F. 1. 法然が専修念仏を唱える。
2. 親鸞が『教行信証』を著す。
3. 一遍が時宗を広める。
4. 蓮如が石山本願寺を創建する。

IV

次の文を読み、下記の問いに答えなさい。

1600年の関ヶ原の戦いで勝利して絶大な権力を握った徳川家康は、1603年、征夷大將軍に任命され江戸に幕府を開くと、まもなく將軍職を子の秀忠に譲り、將軍職は代々徳川氏で世襲することを示した。その後大坂城を攻め、ついに豊臣氏を滅ぼした。こうして徳川家康は、他の大名に対して圧倒的な軍事力と経済力を持つ徳川將軍を頂点とする幕藩体制を作り上げた。その後、2代將軍秀忠・3代將軍家光の代を通して、武家諸法度(元和令・寛永令)などの法制が整備されるとともに鎖国体制も整えられ、徳川將軍家と江戸幕府の支配はさらに確固たるものになった。

問 1. 下線部(ア)について述べた文として、内容に誤りがあるものを次の1～4から選び、その番号をマークしなさい。

1. 豊臣秀吉の死後、五奉行筆頭の徳川家康と五大老の一人石田三成が対立した。
2. 石田三成は五大老の一人毛利輝元を盟主にして主に西国大名を味方に付けて徳川家康打倒の兵を挙げた。
3. 東西両軍は、美濃の関ヶ原で激突した。
4. 戦いに勝利した徳川家康は、西軍の諸大名の領地を没収または削減し、味方の諸大名に分け与えた。

問 2. 下線部(イ)について述べた文として、内容に誤りがあるものを次の1～4から選び、その番号をマークしなさい。

1. 豊臣秀頼は家康に従わず、名目上は父秀吉以来の地位を継承していた。
2. 徳川家康は大仙院鐘銘事件をきっかけに1613年に大坂冬の陣を起こした。
3. いったん和議を結んだが、1615年に大坂夏の陣を起こした。
4. 大坂城が陥落し豊臣秀頼が自害して戦いは終わった。

問 3. 下線部(ウ)について述べた文として、内容に誤りがあるものを次の1～4から選び、その番号をマークしなさい。

1. 幕府の軍事力は、將軍直属の旗本・御家人のほか、諸大名に負担させる軍役があった。
2. 幕府直轄の領地はおよそ100万石であった。
3. 幕府は佐渡金山・石見銀山などを直接支配し、貨幣鑄造権を握った。
4. 幕府は、江戸・大坂・京都・堺・長崎などの重要都市を直轄支配した。

問 4. 下線部(エ)について述べた文として、内容に誤りがあるものを次の 1 ～ 4 から選び、その番号をマークしなさい。

1. 幕府が大名を統制した。
2. 強力な領主権をもつ将軍と大名が土地と人民を支配した。
3. 幕府は、ことあるごとに大名の改易や転封などを行った。
4. 老中など幕府の要職には外様大名がついて幕政を行った。

問 5. 下線部(オ)について述べた文として、内容に誤りがあるものを次の 1 ～ 4 から選び、その番号をマークしなさい。

1. 大名は、城を修理するときは、必ず幕府に届け、新たに城を築くことは禁止することなどが定められた。
2. 大名は、幕府の許可なく文武弓馬の道に励んではならないと定められた。
3. 大名は、領地と江戸に交替で住むこと。毎年 4 月中に江戸に参勤することが定められた。
4. 大名は、500 石以上積める船を作ってはならないと定められた。

問 6. 下線部(カ)について述べた文として、内容に誤りがあるものを次の 1 ～ 4 から選び、その番号をマークしなさい。

1. 1616 年、中国船を除く外国船の寄港地を長崎と平戸に制限した。
2. 1624 年、イギリス船の来航を禁止した。
3. 1635 年、日本人の海外渡航と在外日本人の帰国を禁止した。
4. 1639 年、ポルトガル船の来航を禁止した。

V 次の文を読み、下記の問いに答えなさい。

幕末の日本は、迫り来る欧米列強の植民地化を避け、近代化をなし遂げるという課題を負うことになった。そのために、早急に権力の集中と国力の充実を図る必要があった。そこで明治新政府は、戊辰戦争で旧幕府方を武力で打倒し、1869年の(イ)と1871年の(ウ)によって幕藩体制^(ア)を廃止して中央集権化を成し遂げ、富国強兵策や文明開化策を実施した。しかし、こうした政府の政治には反対も多く、土族反乱^(オ)や自由民権運動^(カ)という形で不満が噴出した。そこで政府はこれらの不満を抑えつつ近代化を成し遂げるため、立憲国家体制を整えることになった。^(キ)

問 1. 下線部(ア)について述べた文として、内容に誤りがあるものを次の1～4から選び、その番号をマークしなさい。

1. 鳥羽・伏見の戦いで徳川慶喜の旧幕府軍は新政府軍に敗れた。
2. 慶喜の命を受けた坂本龍馬と新政府軍参謀の木戸孝允の交渉により、江戸城は無血開城された。
3. 新政府軍は奥羽越列藩同盟の中心と見られた会津を攻め滅ぼした。
4. 箱館の榎本武揚ら旧幕府軍が降伏し、国内は新政府によってほぼ統一された。

問 2. 空欄(イ)と空欄(ウ)に最も適する語句の組み合わせについて、正しいものを次の1～4から選び、その番号をマークしなさい。なお、選択肢の語句は空欄(イ)―空欄(ウ)の順になっている。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 版籍奉還―廃藩置県 | 2. 廃藩置県―版籍奉還 |
| 3. 大政奉還―王政復古 | 4. 大政奉還―版籍奉還 |

問 3. 下線部(エ)について述べた文として、内容に誤りがあるものを次の1～4から選び、その番号をマークしなさい。

1. 政府は、学制を公布し、国民皆学をめざした。
2. 政府は、国民皆兵を原則とする徴兵令を公布した。
3. 政府は、金納を物納に改めて税率を地価の5%とする地租改正条例を公布した。
4. 政府は、富岡に官営製糸場をつくるなど殖産興業に力を注いだ。

問 4. 下線部(㉔)について述べた文として、内容に誤りがあるものを次の 1～4 から選び、その番号をマークしなさい。

1. 征韓論が否決されると征韓派の参議は辞職し、政府批判の運動を始めた。
2. 征韓派前参議の江藤新平は、佐賀の不平士族とともに反乱を起こした。
3. 廃刀令が出され秩禄処分が断行されると熊本の不平士族が反乱を起こした。
4. 西郷隆盛を首領とした最大規模の不平士族の反乱が東京で起こった。

問 5. 下線部(㉕)について述べた文として、内容に誤りがあるものを次の 1～4 から選び、その番号をマークしなさい。

1. 板垣退助らが民権議院設立の建白書を提出したことをきっかけに、自由民権論が急速に高まった。
2. 政府は新聞紙条例や集会条例などによって、自由民権運動を厳しく取り締まった。
3. 自由民権運動が高まる中で、板垣退助の立憲改進黨や後藤象二郎の自由党などが結成された。
4. 自由民権運動が高まると、秩父地方では困民党の農民などが蜂起し軍隊が出動した。

問 6. 下線部(㉖)について述べた文として、内容に誤りがあるものを次の 1～4 から選び、その番号をマークしなさい。

1. 開拓使官有物払い下げ事件により世論の攻撃が激しくなると、政府は国会開設の勅諭を出して、1890 年に国会を開設すると公約した。
2. 1885 年には太政官制度を廃して内閣制度を制定し、伊藤博文を初代内閣総理大臣にした。
3. 1889 年には、天皇を主権者とする大日本帝国憲法が発布された。
4. 約束どおり、1890 年には衆議院と参議院からなる国会が開かれた。

Ⅰ 【日中十五年戦争～太平洋戦争～日本の独立回復】

【12問 問2・問7⇒2点、他は3点 ⇒ 34点】

問1 1 問2 1 問3 4 問4 2 問5 2 問6 1
問7 2 問8 4 問9 3 問10 4 問11 4 問12 3

解説

問1 1 ⇒ 正文。

2 ⇒ 満州国建国が満州人による清王朝の復活だとするのは日本側の建前であり、実際は関東軍の主導によるものであった。

3 ⇒ リットン報告書により、満州国建国は満州人による自発的なものとは認められず、国際連盟では満州国建国は承認されなかった。その結果、日本は国際連盟を脱退することとなったのである。

4 ⇒ 満州事変（柳条湖事件）勃発時の内閣は第二次若槻礼次郎内閣であり、不拡大方針を声明した。後の盧溝橋事件勃発時の内閣が近衛文麿内閣であり、近衛も当初は不拡大方針であり、積極的に軍部を支持してはいない。後、軍部の圧力に屈して戦線を拡大することになったのである。

問2 軍部によるクーデタ未遂事件の代表は、1932年の五・一五事件と1936年の二・二六事件である。三・一独立運動は、朝鮮における独立運動であり、五・四運動は、日本の権益を承認するベルサイユ条約に対して、中国で起こった反対運動である。

問3 1 ⇒ 満州国は日本の傀儡国家と認定され、独立国として国際的に承認されていない。

2 ⇒ 日本軍が共産党を支援したという事実はない。国民党と共産党は対立していたが、日中戦争の拡大により第2次国共合作が実現し、抗日民族統一戦線が成立した。

3 ⇒ 中華民国の首都は南京である。南京陥落時に多くの中国人が殺害されたとされているのが、いわゆる「南京事件」である。

4 ⇒ 正文。

問4 1 ⇒ 仏印とはフランス領インドシナのことである。当時フランスはドイツに降伏し、傀儡政権であるヴィシー政権が成立していた。フランスがドイツの傀儡政権であったからこそ、フランスの植民地である仏印に進駐することが可能だったのである。

2 ⇒ 正文。北部仏印進駐の第一目的は、援蒋ルート遮断であった。

3 ⇒ このような狙いはない。

4 ⇒ 東南アジアには英蘭の植民地が多数あったのだから、南部仏印に進駐して南進政策をとることは、英蘭との対決姿勢を強めることを意味した。

問5 1 ⇒ 国民総動員法という法律は存在しない。1937年から国民精神総動員運動が展開され、1938年に国家総動員法が制定されてからは、1939年の国民徴用令のように議会の承認なく戦争遂行に必要な物資・労働力を動員できるようになった。

2 ⇒ 正文。

3 ⇒ ABCD協力機構などという組織は存在しない。アメリカ（America）、イギリス（Britain）、中国（China）、オランダ（Dutch）の4カ国による対日経済封鎖をABCD包囲陣と呼んだ。

4 ⇒ 東条は近衛内閣の陸相として日米交渉の打ち切りと対英米開戦を主張した。その後、日米交渉の継続を条件に首相に就任したが、中国との戦争終結や満州からの撤退などの主張はしていない。

問6 帝国議会ではなく御前会議。1940年ではなく1941年9月6日の御前会議で、帝国国策遂行要領が決定された。そこで決定された日米交渉の期限は12月ではなく10月上旬であった。

問7 ポツダム宣言を受諾したのは鈴木貫太郎内閣であり、進駐軍を受け入れたのは東久邇宮稔彦内閣であった。東条英機はサイパン島陥落後に、その責任をとって辞任している。吉田茂は戦後初の衆議院議員選挙の結果、公職追放にあった鳩山一郎に代わって首相に就任した。

- 問8 1 ⇒ 日本軍は無条件降伏を受け入れ武装解除を行ったが、この時点では自衛隊はまだ存在していない。
2 ⇒ 極東国際軍事裁判にかけられたのはいわゆる A 級戦犯だけである。B・C 級戦犯は、各地の軍事法廷で裁かれた。
3 ⇒ 治安維持法の制定が 1925 年、治安警察法はそれよりの前の 1900 年に制定されている。いずれも 1945 年に GHQ の指令により廃止になった。
4 ⇒ 正文。

- 問9 1 ⇒ 選挙権が認められたのは、20 歳以上の男女である。
2 ⇒ 教育勅語の発布は 1890 年で、1948 年に廃止された。
3 ⇒ 正文。
4 ⇒ 制定されたのは、労働関係調整法・労働組合法・労働基準法である。

- 問10 1 ⇒ 日本国憲法の三大原則は、国民主権・平和主義・基本的人権の尊重である。
2 ⇒ 1946 年 11 月 3 日公布、1947 年 5 月 3 日施行である。
3 ⇒ 憲法問題調査委員会による「松本試案」は GHQ に却下され、GHQ による「マッカーサー草案」が議会での一部修正を経て日本国憲法として成立した。
4 ⇒ 正文。

- 問11 1 ⇒ 西側が資本主義陣営で、東側が社会主義陣営である。
2 ⇒ 西側陣営の盟主がアメリカで、東側陣営の盟主がソ連である。
3 ⇒ ドイツは東西、朝鮮とベトナムは南北の対立である。
4 ⇒ 正文。

- 問12 1 ⇒ 中国内戦では国民党が敗北し、1949 年には共産党による中華人民共和国が建国されている。
2 ⇒ 農地改革の目的は寄生地主制の解体であって、日本を農業国にするためではない。また、地租改正条例の制定は 1873 年（明治 2 年）のことである。
3 ⇒ 正文。
4 ⇒ 朝鮮戦争の勃発は 1950 年。また、この時に設置されたのが自衛隊の前身である警察予備隊である。この時点では、自衛隊はまだ存在していない。

Ⅱ 【古代の雑題】

解答 【6問 すべて3点 ⇒ 18点】

A (3) B (1) C (2) D (1) E (3) F (3)

解説

- A (3) ⇒ 八色の姓ではなく、冠位十二階。八色の姓の制定は、天武天皇の時(684年)である。
- B (1) ⇒ 藤原不比等ではなく、その父の中臣鎌足。
- C (2) ⇒ 唐・高句麗ではなく、唐・新羅の連合軍。
- D (1) ⇒ 壬午の乱ではなく、壬申の乱。
- E (3) ⇒ 長岡京ではなく、藤原京。長岡京遷都は平安遷都 10 年前の 784 年のことである。
- F (3) ⇒ 三世一身法ではなく、墾田永年私財法。三世一身法が出されたのは 723 年のことである。

Ⅲ 【中世の雑題】

解答 【6問 すべて2点 ⇒ 12点】

A 3 B 3 C 2 D 4 E 3 F 2

解説

- A 1317年の文保の和談で両統迭立が決定され(1)、大覚寺統から即位した後醍醐天皇が1333年の鎌倉幕府滅亡後に行った政治が建武の新政(3)。建武の新政が失敗に終わり、足利尊氏に擁立されて持明院統から1336年に即位したのが光明天皇(2)。その後、後醍醐天皇は吉野に脱出して南北朝時代となるが、足利義満の時の1392年に南北朝の合一が実現した(4)。
- B 慈円が『愚管抄』を著したのが鎌倉時代(1)。北畠親房が南北朝時代に南朝の正統性を主張するために著したのが『神皇正統記』(3)。室町時代に『風姿花伝』を著した世阿弥元清は足利義満の保護を受けた(4)。『唐獅子図屏風』を描いた狩野永徳は桃山時代に活躍した(1)。
- C 1185年に全国に守護・地頭が設置され、武家政権である鎌倉幕府が実質的に成立した(1)が、3代将軍源実朝が暗殺されると1221年に後鳥羽上皇が兵を挙げ、承久の乱となった(2)。鎌倉時代も後半に入ると、地頭の荘園侵略が進み、紀伊国阿氏河荘民は地頭の非法を荘園領主に訴えた(4)。その後、室町時代に入ると国人(かつての地頭層)を家臣化した守護による荘園侵略が行われるようになった(3)。
- D 源頼家は鎌倉幕府の2代将軍(1)。足利義満は室町幕府の3代将軍(4)、足利義政は8代将軍(3)、そして足利義昭が室町時代最後の将軍である(2)。
- E 永仁の徳政令が発布されたのは、鎌倉時代後半の1297年(1)。正長の徳政一揆は応仁の乱よりも前の1428年に起こり、初の土民蜂起と言われた(3)。1485年の山城の国一揆は、国人層と土民層がともに蜂起し、応仁の乱後も戦闘を継続していた守護勢力を追放して8年間の自治を実現した(4)。応仁の乱以降始まった戦国時代の覇者が織田信長であり、彼は1574年に伊勢長島の一方向一揆の殲滅に成功した(2)。
- F 専修念仏を唱え浄土宗を開いたのが法然(1)、その弟子で浄土真宗を開いたのが親鸞(2)。さらに念仏による往生を、踊念仏によって広めたのが時宗の一遍である(3)。その後、戦国時代に本願寺を再興して浄土真宗本願寺派(一向宗)を隆盛させたのが蓮如である(4)。

Ⅳ 【江戸初期の幕藩体制】

解答 【6問 すべて3点 ⇒ 18点】

問1 1 問2 2 問3 2 問4 4 問5 2 問6 2

解説

問 1 1 ⇒ 五奉行と五大老が逆になっている。2、3、4は正文。

問 2 2 ⇒ 大坂の役のきっかけとなったのは、方広寺鐘銘事件である。また、大坂冬の陣が起きたのは1614年である。1、3、4は正文。

問 3 2 ⇒ 幕府の直轄地である天領は約400万石あった。それに旗本知行地約300万石を加えると、全国の石高の約4分の1になった。1、3、4は正文。

問 4 4 ⇒ 老中などの幕府の要職には、譜代が就任した。幕府の役職には、譜代か旗本が石高に応じて就任するシステムだった。1、2、3は正文。

問 5 2 ⇒ 武家諸法度（元和令・寛永令）は、文武弓馬の道に励むことを奨励している。1、3、4は正文。

問 6 2 ⇒ 1624年に来航を禁止されたのはスペイン船。イギリスはオランダとの競争に敗れ、1623年に商館を閉鎖して撤退している。1、3、4は正文。

V 【近代国家の成立】

解答 【6問 すべて3点 ⇒ 18点】

問 1 2 問 2 1 問 3 3 問 4 4 問 5 3 問 6 4

解説

問 1 2 ⇒ 江戸城の無血開城は、幕府軍の勝海舟と新政府軍の西郷隆盛の交渉によって実現した。1、3、4は正文。

問 2 1 ⇒ 1869年の版籍奉還によって土地と人民が名目上天皇に返還され、1871年の廃藩置県で藩が廃止されて中央から府知事・県令が派遣されたことで、中央集権体制が確立した。

問 3 3 ⇒ 地租改正条例によって物納から金納に改められ、地租は地価の3%と定められた。1、2、4は正文。

問 4 4 ⇒ 西郷隆盛を首領とする最大最後の不平士族の反乱である西南戦争は、西郷の地元の九州で勃発した。1、2、3は正文。

問 5 3 ⇒ 板垣退助が結成したのは自由党であり、後藤象二郎も自由党の有力メンバーである。立憲改進黨を結成したのは、明治十四年の政変で下野した大隈重信である。1、2、4は正文。

問 6 4 ⇒ 参議院が設置されたのは第二次世界大戦後のことである。衆議院と貴族院の二院制であった。また、大日本帝国憲法下で開催されていたのは、厳密に言うと「国会」ではなく「帝国議会」である。1、2、3は正文。